

消防だより

令和7年(2025年)
7月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 10件
救急 : 792件
救助 : 18件

令和7年度全国統一防火標語 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

救急の日

9月9日は「救急の日」そして、この週は「救急医療週間」です。救急業務や救急医療への理解を深め、命について考える大切な機会です。

●応急手当講習のご案内

突然のけがや病気で倒れたとき、そばに居合わせた人が行う応急処置は、救命率や社会復帰の可能性に大きく影響します。

消防本部では、普通救命講習を実施しています。5人程度から開催が可能です。心肺蘇生法やAEDの使用方を学べる内容となっていますので、受講を希望される方は消防本部または消防署までお問い合わせください。

救急車の適正利用を

近年、救急車の出動件数が増えて

きています。「救急車を使えば早く診てもらえる」ということはありません。

救急車は限られた資源です。緊急に救急車で病院に行く必要がある人のために、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

救急車を呼ぶ前に考えよう



●救急搬送件数(上半期)

令和7年(2025年) 上半期(1月～6月)の救急出動件数は682件、搬送人数は626人でした。昨年の同時期と比較して、出動件数は24件、搬送人数は13人、それぞれ増加しています。

救急搬送人数を年齢別に比較すると、高齢者が438人と最も多く、全体の約70%を占めています。成人は142人、少年は24人、乳幼児は22人、新生児は0人でした。



地震による火災をなくそう

地震火災は、事前の対策や地震直後の行動で防ぐことができます。

●事前の対策

- ・家具を固定する(転倒防止)。
- ・感震ブレーカーを設置する。
- ・消火器(住宅用)を準備する。

●地震直後の行動

- ・避難するときはブレーカーを落とす。
- ・ガスの元栓を閉める。

●避難から戻ったら

- ・電化製品などの使用を再開するときは、機器やコードに損傷がないか、付近に燃えやすいものはないかを確認する。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

